



令和5年6月30日

報道関係各位

～東京大学「CEDEP」と連携し、すべての乳幼児の「探究」を支援～ 東京都「乳幼児「子育て」応援プログラム推進事業」に 参加決定しました！

福生市では、令和5年度に東京都が実施する「こども未来アクション」のリーディングプロジェクトの1つである「乳幼児「子育て」応援プログラム推進事業」に応募し、この度、「連携自治体」として正式に決定しました。

福生市では、今後も多様な担い手や専門家等との連携を積極的に推進するなどの施策を展開し、保育政策を「量」から「質」へとシフトチェンジしていきます！

■「乳幼児「子育て」応援プログラム推進事業」とは

保育所や幼稚園において、子どもたちが多彩な体験に触れ合うことのできる共通プログラム（自然、芸術、言語等）を推進するものです。この共通プログラムを実践する保育所等（実践協力園）に対し、技術的・財政的な支援を行い、意欲・自己肯定感・社会性等の非認知能力の育成に資するよう、子どもたちの主体的な「探究」とそのプロセスの質を向上させることが目的です。

令和5年度は、実践協力園におけるβ版プログラム（さらなる改善を行うための初版）の実践を予定しており、これに協力することができる連携自治体を東京都が募集していました。

■具体的な支援を東京大学「^{セデップ}CEDEP」がバックアップ

「CEDEP」とは、東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター（The Center for Early Childhood Development, Education, and Policy Research）の略で、保育の質の向上を実現するため、国内外の研究機関や保育園・幼稚園の各団体、民間企業など、幅広い連携のもとで総合的な研究を推進している研究機関です。

実践協力園は共通プログラムの実施にあたり、それぞれの環境や強みを活かしながら、自らが選択したテーマ（自然・芸術等）に沿って探究活動を行います。CEDEPはそれに対し、具体的な活動内容に関する事前協議や助言、研修等の実施により、各園をバックアップする体制となっています。

■福生市の実践協力園

令和5年度は、すみれ保育園、聖愛幼稚園、若葉保育園、福生杉ノ子保育園、ありんこ保育園の市内5施設が本事業を実施する予定です。

■スケジュールについて

- ・令和5年7月 「CEDEP」と実践協力園の調整・研修
- ・令和5年9月 β版プログラム実践（～11月）
- ・令和6年3月 実践報告会・完成版プログラムの策定

【問合せ】子ども育成課 保育・幼稚園係 ☎042-551-1780